

# 道の駅平泉

～黄金花咲く理想郷～

2017年春に開業を予定している道の駅平泉に関する情報をお知らせします。

■問い合わせ先…農林振興課 ☎46-5564



**出荷者の本登録を随時、受け付けています**

農産物や加工品などを道の駅平泉に新たに出荷したいと考えている人は、ぜひお申し込みください。

■本登録に必要なもの

- ▽出荷登録申込書(株式会社浄土の郷平泉、または役場農林振興課にあります)
  - ▽出荷予定調査票(同右)
  - ▽入会金5千円
  - ▽食品衛生営業許可証、届出のコピー(加工品を出荷する人)
- ※道の駅オープン後には、年会費2千円が必要です。

■申し込み・問い合わせ先

- ▽岩手県西磐井郡平泉町平泉字花立11-2
- 株式会社浄土の郷平泉
- 代表・千葉邦彦
- ☎090-7076-8050
- 産直本部長・鈴木徳美
- ☎090-4883-7406
- ▽役場農林振興課
- ☎46-5564

**「売れる野菜を作ろう」栽培講習会を開催します**

「株式会社浄土の郷平泉」では、産直で売れる野菜の栽培方法や農薬の正しい使い方などを学ぶ野菜栽培講習会を次の日程で開きます。ぜひご参加ください。

■日時：12月15日(木)

13時30分～16時

■場所：役場2階201会議室

■講師

▽「売れる野菜の栽培方法」

渡辺採種場社員

▽「農薬の正しい使い方」

農業改良普及センター職員

■対象：町内で野菜を栽培する人  
※道の駅への出荷者でなくても講習会に参加できます。

■問い合わせ先

- 株式会社浄土の郷平泉
- 代表・千葉邦彦
- ☎090-7076-8050
- 産直本部長・鈴木徳美
- ☎090-4883-7406

## 道の駅の話

Topic of Road Station

### 開業に向け着々

2017年春の開業を目指して着々と進められている「道の駅平泉」の建設工事。これまでに柱、梁などの構造材の組み立て、棟上げがおおむね終わりました。

今後は内装や外装の工事、外構工事などが進められていきます。



大型クレーンを使った屋根工事も進められた

### 本登録の申し込みを受け付け

「道の駅平泉」を管理運営する「株式会社浄土の郷平泉」は11月11日、道の駅内の農産物等直売施設への出荷者について、本登録の受け付けと個別説明を役場で行いました。

この日は出荷予定者約60人が手続きに訪れ、申込書の提出と入会金の納付を行ったほか、農産物の預かり可能期間や加工品の販売スペースなどについて、個別に説明を受けていました。



本登録の申し込みを受け付ける同社役員(写真奥)

### interview



株式会社浄土の郷平泉 産直本部長 鈴木徳美 さん(10区)

### 産直施設を通じて町内の農業の活性化を図りたい

11月11日に開催した出荷者本登録と個別説明会には多くの生産者の方々が集まってくれました。直接ご意見など伺いたかったですので、今後の施設運営に役立てていきたいと思っています。

さて道の駅平泉の産直部門の状況についてお知らせします。現在、平泉地区の出荷者は約70人が登録しています。出荷登録者100人を目指し、今後も引き続き町内の生産者に出荷のお願いをしていきます。一関市や奥州市など町外の生産者には、町内にはない農産物を出荷してもらおうなど、なるべく町内農産物とかぶらないように調整を図ります。また顧客ニーズを考慮し、農産物だけでなく海の幸も並べたいと考えています。産直施設では品ぞろえやボリューム、鮮度を重視した商品を展開し、町内の農業の活性化につなげていきたいです。

### 寄稿 ふるさと平泉会から

## 第34回江東区民まつり・平泉ブースへ 山崎孝明江東区長が来訪

去る10月15日～16日の2日間、東京都立木場公園で、第34回江東



人口50万人の江東区。「第34回江東区民まつり」のメインステージ



来訪された山崎江東区区長(写真右)



全国41市町村参加の「はるばるパザール」の平泉ブース

区民まつりが開催され、「はるばるパザール」に平泉町から「江東区民と交流する会」(会長・青木幸保平泉町長)が出店しました。開催両日とも好天に恵まれ、入場者数は44万人と過去最大となりました。

今回は特別に、主催者の東京都江東区長・山崎孝明さんが奥さまとご同伴で、平泉ブースへ来訪されました。山崎区長は今年5月1日から開催の「春の藤原まつり」の東下り行列に、藤原秀衡公の大役を務められて話題になったことから、その返礼を込めて来訪されました。

また、初日の夜は江東区神興関係者との交流会が開催され、平泉町から平泉総社神興会長の千葉庄悦平泉商工会長をはじめ、齋藤清壽副町長、稲葉幸子観光商工課長ほか19人が出席。人口50万人の江東区と平泉町の友好都市の絆をより深くする交歓会が行われました。

平泉ブースの実績は、「入荷した物は完売となり、来場者には平泉観光パンフレットを配布してPR岩瀬嘉之観光商工課長補佐」と好成绩をあげて帰泉されました。

ふるさと平泉会 副会長 鈴木 喜佐人

## 発掘最前線 148

### 無量光院跡第34次調査

た頃、斜面上からころがってきたもので、後述する石敷から流れ落ちた石と考えられます。

#### ◆石敷

数軒の川原石がまとまっている所がありました。斜面上の一部のみが元々の位置(現位置)を保っていますが、大半は流れ落ちた石と考えられます。現位置を保っている石敷きの年代は12世紀の可能性が考えられます。

この石敷の性格についてはよく分かっていますが、無量光院跡では通路や島や入江などの主要部分には石で化粧を施す傾向があり、周辺に通路があった可能性があります。



新しい堀

# 平泉を掘る

本年度の無量光院跡の調査では、無量光院跡の北東側を区画していると考えられる堀2条と、12世紀の可能性が考えられる性格不明の石敷と、時期不明の柱穴20個が見つかりました。堀は新旧2時期あり、短期間に造り替えが行われていたことが分かりました。

#### ◆古い堀

無量光院跡の北東側を区画すると考えられる幅7m、深さ2m程度の堀です。

この古い堀は造られてからまもなく人工的に埋め戻されており、埋め土の下には地滑り防止のために枝や植物など敷いた粗朶の跡がありました。なお、粗朶は柳之御所遺跡の堀からも見つかっています。時期は無量光院が造られた頃と考えられます。

#### ◆新しい堀

古い堀を埋め立てた跡地に、幅2m、深さ70cmの堀が造られました。古い堀とは異なり人工的に埋められた痕跡は無く、自然に埋まったようです。時期は12世紀と考えられます。短期間になげ堀を小規模に作り替えをしたのか、今後その理由を探っていく必要があります。

なお、この新しい堀の埋土上位には数軒の小石がまとまって見つかっています。これは、堀が埋まりきつ